



令和3年度 福島県立いわき支援学校くぼた校 学校経営・運営ビジョン



< 学校像 >

- ・ みんなが笑顔であいさつのできる明るい学校
- ・ 将来に夢を持ち、主体的に学ぶことができる学校
- ・ 家庭や地域住民、社会から信頼される学校
- ◎ 地域と共に歩み、地域で育ち、地域から必要とされる学校

< 教育目標 >

児童生徒一人一人の能力・特性に応じ、自立と社会参加を目指して、生きる力を育み、社会の変化に主体的に対応できる人間を育てる

< 児童生徒像 >

- 自ら考え学ぶ人
- 心ゆたかな人
- じょうぶな人

< 教職員像 >

- ・ 心身ともに健康で、意欲に満ちた教職員
- ・ 共に学び、高め合い、研修に励む教職員
- ◎ 保護者や地域の願い、期待に応える教職員
- ◎ 法令を遵守し、使命感を持って教育に専念する教職員

< 重点目標 >

- 生徒の教育的ニーズに応じた指導の充実
- 自立と社会参加に向けた職業教育の充実
- 交流及び共同学習の推進
- 地域と連携した共生社会の形成に向けた取組

< くぼた校の教育目標 >

- 生徒一人一人の実態と教育的ニーズに応じた適切な教育を行い、地域の中で自立した生活を送ることができる力を身につけさせる。
- 自らも地域の中で役割を果たそうとする意識、意欲をもった生徒を育成する。

< 自ら考え学ぶ人 >

知

生徒の教育的ニーズに応じた指導の充実

- 1 生徒一人一人の「学びの連続性」の推進
 - 各教科における「育成を目指す資質・能力」を明確にするとともに系統的、発展的な指導が図られるよう各教科の3年間の指導計画の作成及び改善を行います。
 - 個別の指導計画を活用した学習の評価を適切に行いながら、授業における指導目標や指導内容、指導方法を工夫・改善することで、授業の充実を図ります。
- 2 自立活動の充実
 - 「個別的教育支援計画」を活用し、生徒一人一人の自立と社会参加に向けて必要な力を明らかにするとともに、各教科との関連を図りながら、指導の充実に努めます。
- 3 情報活用能力の育成
 - 校内におけるICT機器の活用環境を整え、生徒の学習意欲や学習活動の充実に努めます。

< 心ゆたかな人 >

徳

自立と社会参加に向けた職業教育の充実 交流及び共同学習の推進

- 4 職業教育の充実
 - 作業学習や産業現場等における実習、企業と連携した「デュアルシステム型作業学習」、さらには福島県特別支援学校作業技能大会への参加を通して、生徒一人一人の働く意欲を培うとともに、職業意識を高め、自立と社会参加につながる資質や能力を育てます。
 - 自己実現に向けて生徒自らが進路選択できる力が育まれるよう、生徒一人一人の発達を考慮した指導を工夫するとともに、家庭や企業、地域の関係機関と連携した進路指導の充実に努めます。
- 5 交流及び共同学習の推進
 - 勿来高等学校や近隣の学校との計画的な交流及び共同学習を通して、生徒の経験を広め、社会性や豊かな人間性を育てるとともに、共に学ぶ機会を通して相互の理解や尊重する心を育てます。

< じょうぶな人 >

体

健康で安全な生活の推進

- 6 生徒指導の充実
 - いじめの未然防止やSNSによる犯罪被害防止に向け、生徒の発達段階や生徒を取り巻く生活環境を踏まえた指導の工夫を図るとともに、相談機能の充実を図ります。
- 7 健康教育の充実
 - 生徒の発達段階や障がいの特性に応じ、県版「自分手帳」を活用するなどして、望ましい運動習慣や食生活、生活習慣の形成に努めます。
 - 「新型コロナウイルス感染症」の予防を含め、生涯にわたって自ら進んで健康の大切さや健康の保持増進に向かう態度や習慣を身につけるための健康教育に努めます。
- 8 防災教育の充実
 - 安心安全な学校生活を築くため、危機管理マニュアルの確認と周知を図り、防災教育について計画的、組織的に取り組みます。

地域と連携した共生社会の形成に向けた取組

地域の資源を生かした体験・教育活動の充実

- 9 社会貢献活動の推進
 - 地域のボランティア団体や近隣の学校と連携を図り、地域の清掃活動や植栽活動等のボランティア活動に積極的に参加します。
- 10 外部講師や学習施設等の活用
 - 地域の方々を講師として招聘した授業づくりや地域の学習施設を活用するなど、教育活動の充実を図ります。
- 11 各種大会や検定等への積極的参加
 - 様々な大会や各種検定等への参加を通して、学習機会の拡充を図るとともに、生涯学習への意欲を高める機会をつくります。

地域の特別支援教育の充実

- 12 特別支援教育の理解と専門性の向上
 - 地域における各種研修会への積極的な参加を通して専門性の向上を図るとともに、特別支援教育セミナーを実施することで、地域における研修機会の充実を図ります。
- 13 広報活動の充実
 - 作品展への参加や作業製品販売会の実施、また、ホームページや学校紹介ビデオの活用、広報紙の発行等により、地域における特別支援学校への理解啓発を図ります。

切れ目のない相談体制の整備と充実

- 14 特別支援学校のセンター的機能の充実
 - 小・中学校等への出かける支援や南部地区中・高情報交換会の開催を通して、地域における指導支援の課題について把握するとともに、校種間の接続や校内体制への支援を図ります。
- 15 相談支援の充実と関係機関との連携
 - 地域と連携した支援の充実を図るとともに、家庭及び福祉、保健・医療、労働等関係機関との連携を通じた相談支援体制の構築を図ります。